

愛媛県民各位

謹啓 厳冬の候、愛媛県民の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年発生した未曾有の大地震、大津波、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故に遭遇し、着の身着のまま避難して途方にくれておりました。現在本校は県内4つのサテライトで学びの継続を行っております。

避難により職を失うなど経済的に困難な状況にあることに配慮し、生徒たちが楽しみにしていた修学旅行をやむを得ず中止にいたしました。折りも折り困窮している私たちに対して、愛媛県知事の中村時広様より温かい励ましのお言葉を賜り、さらに愛のくに愛媛県への修学旅行をプレゼントしていただきました。誠に有難く心より御礼申し上げます。避難生活が続く本校生徒にお力添えをいただき感激しております。

この度の修学旅行に際して、訪問先の各地で愛顔あふれる歓迎のセレモニーを開催していただき有難うございました。身に余る歓待をしていただき恐縮に存じます。また、松山北高等学校、八幡浜高等学校との交流は、未来日本を担う世代の絆を深めることができました。県民の皆様のご厚意は、双葉復興、福島復興に向けて生徒に勇気を与えたと確信しております。皆様の愛顔と励ましの言葉を胸に、過日福島に帰着いたしました。

今は双葉高等学校の校舎に戻り、平常の学校生活が再開できることをただただ願っております。残念なことです。原発から3.5Kmにある本校は、警戒区域の指定が解けず当分避難生活が続きます。しかし生徒は双葉の復興、福島の復興のために、それぞれの進路目標の達成に精進すると信じております。今後とも本校教育に対しまして、ご理解、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中を持ちまして御礼かたがたご挨拶申し上げます。

敬具

平成24年1月31日

福島県立双葉高等学校長  
山 崎 伊 佐 夫